



第3回

第37回 日本診療放射線技師学術大会

第23回 アジア・オーストラレーシア学術交流大会 (23rd AACRT)

第28回 東アジア学術交流大会 (28th EACRT)

東京への道 Go To TOKYO

副大会長 白木 尚

(公益社団法人東京都診療放射線技師会)



「One for all, All for one」

この後の回で東京案内がいくつかあると思います、第3回は2月から始まる演題募集を踏まえてお願いの内容となることをご容赦ください。

タイトルは私の大好きな言葉です。Rugby World Cup (RWC) 2015の南アフリカ対日本戦での快挙、ノーサイド直前の攻防でトライを選択した勇氣に感動された方、少なくないと思います。そしてRWC2019日本開催でも、たくさんの感動がありました。その感動の中には、ゲームはもちろんですが、ラグーマンのすがすがしさに共感される部分も多かったのではないのでしょうか。小生、ラグビー経験者ではなく恐縮ですが、ラグーマンの精神に共感します。「フェアプレーの精神」「NO SIDE (ノーサイド) の精神」「「One for All, All for One」自己犠牲の精神」です。

RWC2019の年に東京で開催された関東甲信越診療放射線技師学術大会では、サブテーマにこの言葉を掲げて「一人の患者のために、他職種のみなが協力して医療を行う」というチーム医療の推進 (All for one) と、「感染対策は一人のエラーが集団に影響してしまう」という医療安全の推進 (One for all) などを伝える大会としました。ラグビーでは、個人はチーム全体のために自己犠牲をし、チームは一人となり個人をサポートする「一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために」ですが、本大会では、何とか盛会裏となるよう「第37回は会員一人一人のスキルアップのために、みんなは第37回のために何とか演題を」ご協力のほどよろしくお願いします。

これまでの学術大会はリアル開催、いわゆる生放送でしたが、第37回はハイブリッド開催なので、オンラインの部分では映画を作るようにいろいろなことができます。一般演題も一発勝負ではなく、ベスト発表での応募もできます。リアルの良さも残しつつ、将来はVRなども取り入れたハイブリッド開催になるのでしょうか…。



は、 日本診療放射線技師会、 東京都診療放射線技師会、第37回大会のために！ 日本診療放射線技師会、 東京都診療放射線技師会 は、全国技師会のために！

*全国技師会さまのロゴ・会名を、ホームページより拝借したことをご容赦ください。